



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社テラプローブ
コード番号 6627 URL <http://www.teraprobe.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 雄一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO (氏名) 神戸 一仁

TEL 045-476-5711

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	17,968	14.6	2,430	△37.0	2,221	△38.0	1,328	△48.8
23年3月期第3四半期	15,680	—	3,860	—	3,580	—	2,592	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 1,136百万円 (△58.9%) 23年3月期第3四半期 2,767百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	143.07	—
23年3月期第3四半期	333.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	49,632	27,693	52.5
23年3月期	50,325	26,557	49.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 26,057百万円 23年3月期 24,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
23年3月期	—	0.00	—	0.00	円 銭	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	円 銭	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	円 銭	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,300	18.3	2,900	△44.0	2,500	△48.3	1,400	△66.3	150.82

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規1社 (社名) 株式会社テラミクロス

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	9,282,500 株	23年3月期	9,282,500 株
24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期3Q	9,282,500 株	23年3月期3Q	7,773,091 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間（以下、「当会計期間」という。）における経済状況は、タイで発生した大規模な洪水によりサプライチェーンが混乱したことに加え、外国為替市場では円高が長期化し、さらに欧州の財政危機は未だ収束に至らないなど、先行きの不透明な状況が続いております。

当会計期間において当社グループが属する半導体業界では、景気の低迷や洪水によるサプライチェーンの混乱、新興国の成長の鈍化などから、デジタル家電向け半導体とDRAMの需要が低迷いたしました。

このような状況の下、当社グループは10月からウエハレベルパッケージの受託生産を主なビジネスとしている株式会社テラミクロス（以下、「テラミクロス社」という。）を新たに連結子会社とし、既存のテストビジネスとのシナジーを図っております。テラミクロス社の収益は、取り扱っている製品の種別に基づき、セグメントとしてはシステムLSI事業に含めております。

また、12月には半導体市場で成長が期待されるアナログ半導体のテスト受託を強化するため、株式会社エリアと業務提携契約を締結いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間（以下、「当累計期間」という。）における当社グループの売上高は17,968百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益は2,430百万円（同37.0%減）、経常利益2,221百万円（同38.0%減）、四半期純利益1,328百万円（同48.8%減）となりました。なお、テラミクロス社の連結子会社化に際して、当会計期間末においては取得原価の配分が完了していないことなどから暫定的な会計処理を行っております。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。なお、セグメント別の業績には連結調整額、為替換算レート調整額、セグメント別に配分されない費用を含んでおりません。

① メモリ事業

メモリ事業においては、当会計期間も、全体としては非常に厳しい市場環境が継続いたしました。しかしながら、主要顧客の製品が微細プロセスにシフトしたことに伴うテスト受託量の一時的な増加等により、売上高は15,140百万円（前年同期比5.3%増）、セグメント利益は3,988百万円（同24.0%減）となりました。

② システムLSI事業

システムLSI事業においては、新規案件の受託に注力したものの、上記洪水の影響による生産調整や、デジタル家電の販売低迷の影響などにより、半導体生産が低迷し、当社グループのテスト受託も低迷いたしました。しかしながら、10月からテラミクロス社の業績が連結対象となったことから、当事業の売上高は大きく伸びました。この結果、システムLSI事業の売上高は2,900百万円（前年同期比118.8%増）、セグメント損益は635百万円の損失（前年同期は629百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当会計期間末における総資産は49,632百万円となり、前連結会計年度末比693百万円の減少となりました。これは主に、テラミクロス社が連結子会社に加わったことで受取手形及び売掛金が2,400百万円、有形固定資産が838百万円それぞれ増加しましたが、一方で、前連結会計年度に取得した設備代金の支払いが当累計期間に生じたことで現金及び預金が1,958百万円減少、前連結会計年度に設備売却したものの入金により未収入金が2,288百万円減少したことによるものです。

負債は21,938百万円となり、前連結会計年度末比1,829百万円の減少となりました。これは主に、テラミクロス社が連結子会社に加わったことで支払手形及び買掛金が910百万円増加しましたが、一方で、設備購入代金の支払等により未払金が2,194百万円減少、返済によりリース債務が670百万円減少したことによるものです。

純資産は27,693百万円となり、前連結会計年度末比1,136百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が1,328百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は5,252百万円となり、前連結会計年度末比1,958百万円の減少となりました。

当累計期間のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、6,784百万円の純収入（前年同期比18.7%の収入増）となりました。これは主に、当累計期間での税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上により9,042百万円の資金が増加しましたが、一方で、法人税等の支払額1,257百万円及び売上債権の増加981百万円により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、9,338百万円の純支出（前年同期比239.6%の支出増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9,146百万円及び連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出409百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、640百万円の純収入（前年同期比25.8%の収入増）となりました。これは主に、セール・アンド・リースバック取引による5,467百万円の収入と、リース債務の返済による4,977百万円の支出によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績予想につきましては、平成23年10月26日に発表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。第2四半期決算短信の通期業績予想に関する定性情報に記載の通り、第4四半期連結会計期間においてもメモリ事業、システムLSI事業ともに厳しい事業環境が継続するものと認識しております。今後、事業環境がさらに大きく変化する場合は、その状況を検証した上で適時開示を行って参ります。

なお、当会計期間から連結子会社となりましたテラミクロス社について、上記のように暫定的な会計処理を行っているため、会計処理の確定により、通期業績に変更が生じる可能性があります。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、株式会社テラミクロスの株式をカシオ計算機株式会社より平成23年10月1日に取得し、子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

見積実行税率の算定にあたっては、平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」が公布されたことに伴う、平成24年度以降の税率の変更を反映しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,211,189	5,252,217
受取手形及び売掛金	3,774,836	6,175,700
製品	12,675	24,912
仕掛品	139,692	286,584
原材料及び貯蔵品	24,263	95,802
未収入金	3,293,869	1,005,017
その他	242,405	401,037
貸倒引当金	—	△731
流動資産合計	14,698,932	13,240,539
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	27,037,352	26,384,602
その他(純額)	7,219,071	8,710,267
有形固定資産合計	34,256,423	35,094,869
無形固定資産		
投資その他の資産	490,844	489,176
その他	879,134	809,496
貸倒引当金	—	△1,813
投資その他の資産合計	879,134	807,682
固定資産合計	35,626,402	36,391,728
資産合計	50,325,335	49,632,268
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	479,490	1,389,943
短期借入金	1,580,400	1,738,806
1年内返済予定の長期借入金	300,000	300,000
リース債務	5,994,960	4,951,539
未払金	5,131,497	2,936,570
未払法人税等	992,098	549,516
引当金	338,135	264,656
その他	699,981	926,689
流動負債合計	15,516,563	13,057,722
固定負債		
長期借入金	300,000	150,000
リース債務	7,622,040	7,994,495
引当金	146,118	185,266
その他	182,953	551,006
固定負債合計	8,251,112	8,880,767
負債合計	23,767,675	21,938,490

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,823,312	11,823,312
資本剰余金	11,380,267	11,380,267
利益剰余金	1,972,117	3,300,178
株主資本合計	25,175,698	26,503,758
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△281,920	△446,443
その他の包括利益累計額合計	△281,920	△446,443
少数株主持分	1,663,881	1,636,462
純資産合計	26,557,660	27,693,778
負債純資産合計	50,325,335	49,632,268

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	15,680,316	17,968,178
売上原価	10,604,535	14,047,363
売上総利益	5,075,781	3,920,814
販売費及び一般管理費	1,214,824	1,490,215
営業利益	3,860,957	2,430,598
営業外収益		
受取利息	1,816	3,910
設備賃貸料	32,168	26,741
受取手数料	9,114	29,150
受取補償金	—	58,036
その他	5,386	25,981
営業外収益合計	48,485	143,819
営業外費用		
支払利息	167,756	191,064
株式交付費	41,312	—
休止固定資産減価償却費	70,483	88,089
支払補償費	—	58,283
その他	49,652	15,573
営業外費用合計	329,205	353,012
経常利益	3,580,237	2,221,406
特別利益		
固定資産売却益	114,951	116,189
特別利益合計	114,951	116,189
特別損失		
固定資産売却損	57,819	18,692
固定資産除却損	5,959	45,384
ノウハウライセンス契約解約損	38,095	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,453	—
特別損失合計	104,327	64,077
税金等調整前四半期純利益	3,590,860	2,273,518
法人税等	691,219	814,806
少数株主損益調整前四半期純利益	2,899,640	1,458,712
少数株主利益	306,713	130,652
四半期純利益	2,592,927	1,328,060
少数株主利益	306,713	130,652
少数株主損益調整前四半期純利益	2,899,640	1,458,712
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△132,578	△322,594
その他の包括利益合計	△132,578	△322,594
四半期包括利益	2,767,062	1,136,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,525,312	1,163,537
少数株主に係る四半期包括利益	241,749	△27,418

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,590,860	2,273,518
減価償却費	4,826,312	6,769,067
引当金の増減額 (△は減少)	△99,264	△244,095
受取利息	△1,816	△3,910
支払利息	167,756	191,064
設備賃貸料	△32,168	△26,741
受取補償金	—	△58,036
株式交付費	41,312	—
支払補償費	—	58,283
固定資産除売却損益 (△は益)	△51,172	△52,112
ノウハウライセンス契約解約損	38,095	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,453	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,444,572	△981,561
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△39,063	△19,379
仕入債務の増減額 (△は減少)	207,675	311,394
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△98,823	48,892
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△122,782	△230,263
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	—	226,099
その他	△19,097	△34,688
小計	5,965,704	8,227,532
利息の受取額	5,265	3,899
利息の支払額	△163,787	△189,031
補償金の受取額	—	58,036
法人税等の還付額	8,940	—
損害賠償金の支払額	—	△58,283
法人税等の支払額	△99,677	△1,257,265
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,716,446	6,784,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,789	—
有形固定資産の取得による支出	△3,309,061	△9,146,267
有形固定資産の売却による収入	511,057	277,566
無形固定資産の取得による支出	△21,398	△80,579
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△409,379
設備賃貸料の受取額	98,689	27,616
資産除去債務の履行による支出	△3,492	△3,800
その他	△5,152	△3,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,750,148	△9,338,613

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	984,024	300,000
長期借入金の返済による支出	△150,000	△150,000
リース債務の返済による支出	△5,210,884	△4,977,754
セール・アンド・リースバック取引による収入	462,560	5,467,764
株式の発行による収入	4,422,931	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	508,633	640,010
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25,386	△45,257
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,449,543	△1,958,971
現金及び現金同等物の期首残高	2,820,690	7,211,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,270,234	5,252,217

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	合計 (注2)
	メモリ事業	システム LSI事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,380,068	1,325,615	15,705,684	△25,368	15,680,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	14,380,068	1,325,615	15,705,684	△25,368	15,680,316
セグメント利益又は 損失(△)	5,250,857	△629,333	4,621,523	△760,566	3,860,957

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△760,566千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△741,870千円、連結消去△10,499千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額△8,197千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注2)	合計 (注3)
	メモリ事業	システム LSI事業 (注1)	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,140,642	2,900,317	18,040,959	△72,781	17,968,178
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	15,140,642	2,900,317	18,040,959	△72,781	17,968,178
セグメント利益又は 損失(△)	3,988,303	△635,727	3,352,575	△921,976	2,430,598

(注) 1. 平成23年10月1日より株式会社テラミクロスが子会社となったことから、株式会社テラミクロスの業績をシステムLSI事業に含めております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△921,976千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△932,393千円、連結消去21,506千円、円換算に用いた為替相場の相違による差異調整額△11,090千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに属していない一般管理費です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。